



# トピックス



## 文化・研修部会 平成30年度の活動

1. 「宝塚西谷歴史マップ」の作成、各戸配布しました。  
歴史・文化スポットのイラストマップです。地域文化を振り返り、発信して頂く手助けになれば幸いです。
2. 西谷会館ギャラリーで月に一回展覧会を開催しました。  
西谷在住の作家を中心に、写真・イラスト・工芸品・書道など多数の作品を展示して6年目になります。
3. 「西谷文化通信」を毎月発行、各戸に配布しています。  
今年の12月で第67号を迎えました。「西谷クイズ」と「西谷文化探訪」を連載しています。  
《平成31年度に向けて》



西谷には、音楽・芸能・茶華道・短歌など様々な文化活動をされる方々がおられます。これらの文化活動の連携にむけた事業へ展開できればと願っております。 **文化・研修部会 部会長 白石 太良**

## 「何でも話せる にしたに☆ひろば」

日時：毎週《月・水・金》9時～12時（福祉の専門的なご相談は毎週金曜日）

場所：西谷ふれあい夢プラザ コミュニティ室 電話：090-1510-1100

「日頃のお困りごと、外出支援、どこへ相談したら良いかわからないこと」お気軽にご相談ください！

\*色んな困りごとについてもその他の関係機関へつなぎます。



第1金曜日 「親子のお話ひろば」（相談員：西谷地区主任児童委員）

第2金曜日 「介護保険・障がい者相談」（相談員：西谷地域包括支援センター）

第3金曜日 「どなたでもお話しひろば」「福祉総合相談」  
（相談員：宝塚市社会福祉協議会西谷地区センター）

第4金曜日 「歯科相談」と子どもの「発達」について  
（相談員：国保診療所（歯科衛生士）

**福祉部会 部会長 西田 實**

## 西谷コミュニティだより 第73号 平成31年 1月 1日発行

発行：西谷地区まちづくり協議会 編集：総務部会 発行部数：1,000部 ※掲載写真、記事の無断複製及び転用は禁止します。

紙面に関するお問い合わせは西谷地区まちづくり協議会事務局 電話 0797-91-1788 までお願いいたします。



わたしたちは「創造」します  
一人・感動・緑のまちづくり

JA 兵庫六甲 宝塚西谷支店  
宝塚市大原野字南宮2-4  
TEL(0797)91-0002



7月29日は「ダリアの日」  
毎年10月第3土・日  
「ダリア花まつり」を開催！

ダリア園に関するお問い合わせ

（佐曾利園芸組合）〒669-1202 宝塚市上佐曾利字大垣内16-1

TEL.0797-91-0003 FAX.0797-91-1169

<http://dahlia-takarazuka.jp/>

# 西谷コミュニティだより

第73号 平成31年1月1日発行 西谷コミュニティ（西谷地区まちづくり協議会）編集 総務部

## ☆ 活躍する西谷の星 ☆ 芝 康平さん（神戸市外国語大学 国際関係学科1年生）



Photo by T.Muroi

片手のバットでボールに食らいつき、義足で土を蹴ってフィールドを駆ける彼等はなによりも輝いていました。僕は、今、大学の野球部でプレーしていますが、彼らを間近でみて、もっと頑張ろうと思えました！本当に貴重な経験ができました。

大学生活はまだ始まったばかりなので、もっと色々なことに挑戦したいと思います。

昨年の9月に、神戸市で開催された『世界 身体障害者野球大会』に、大学のボランティアの一環で、通訳スタッフとして参加しました。西谷中学校の卒業文集に、「外国人の野球選手の通訳になりたい」と書いていたので、その夢のスタート地点に立てたような思いがしました。僕は、米国代表に帯同しましたが、彼らの多くが退役軍人でした。アフガニスタンなど中東に派兵され、四肢を失った方もいました。それでも、苦難を乗り越え、必死に白球を追う姿は心に響くものがありました！

## ☆ 長寿のひけつ ☆ 田中 博雄さん 90歳（上佐曾利）

### ダリア栽培70年《今も現役》

昭和5年に始まった佐曾利のダリアづくり。

昭和21年の戦後まもなくからダリア栽培の原動力となって来られました。長続きしたのは良い仲間にも恵まれ、共同で助け合ってきたことと、奥様の献身的な協力があったり続けて来られたとおっしゃっていました。



## 「健康セミナー」開催のお知らせ

日時：1月26日(土)午後1時30分～ 場所：西谷ふれあい夢プラザ  
内容：講演会①「食と睡眠から健康を考える」国民健康保険診療所 歯科医師 駒井 正 氏  
②「野菜が描く大腸の美しい世界」元国立京都工芸繊維大学副学長

名誉教授 原 三郎 氏

共催：社会福祉法人希望の家／西谷地区まちづくり協議会

## 「不法投棄未然防止協議会」講演会のお知らせ

日時：2月24日(日)午前10時～12時 場所：西谷ふれあい夢プラザ  
内容：講演会「地域ではじめる資源循環～上勝町ゼロ・ウェイストの取組事例から考える～」  
講師 特定非営利活動法人ゼロ・ウェイストアカデミー理事長 坂野 晶 氏





### 新年あけましておめでとうございます。

輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。今年是新元号となる年。『平成』の次はどのような時代になるのでしょうか。

今年の干支は『亥（いのしし）』で、『猪突猛進』という言葉が思い浮かびます。目標に向かってまっしぐらに進んでいく、そんな勢いのある年にしていきたいものです。

さて、昨年は3月に念願の新名神が開通し、宝塚に、西谷に新たな玄関口ができました。しかし、西谷の地域振興面ではまだまだ効果が見えていないのではないのでしょうか。

これからの西谷にどのようなことが必要か、昨年11月『宝塚市 西谷ビジョン』の冊子を各ご家庭に配布させていただきました。皆様とともに、行政にもご理解・ご支援いただきながら実現していきたいと存じます。

少子化が急速に進行する中、多くの課題がありますが、西谷のより明るい将来のため一歩進む年になるよう、本年もよろしくお願い申し上げます。  
**西谷地区まちづくり協議会 会長 小中 和正**

### 阿古谷地区交流事業 ～紅葉のきれいな良いお天気の中、有意義に行われました～

第1回 10月28日(日) 参加者 45人・・・西谷地域で交流  
上佐曾利を散策の後、ダリア園を見学。上佐曾利会館で西谷産野菜を使ったお弁当で昼食。その後、両地域の直面する課題等について、話し合いを持ちました。波豆八幡神社他を、地元の方に歴史などの説明をして頂きました。



第2回 12月2日(日) 参加者 40人・・・阿古谷地域で交流



地場産業「糸寒天」製造場所を見学。夜に冷え込み昼に温度の上がる気候風土にあってこの土地で糸寒天が製造されていましたが、今では関西で唯一の製造所になっているそうです。

町立阿古谷小学校廃校跡活用事業(者)として開校した猪名川甲英高等学校と地域をつなぐ阿古谷みらい協議会やまちづくり協議会の方々にお世話になりました。昼食は甲英学院の生徒さんが育てた地元野菜を使ったお弁当をいただきました。交流会では甲英学院の生徒からの素晴らしい提案も含めて意見交換しました。



八坂神社、大歳神社、そして木喰明満上人作の「木喰仏」のある毘沙門堂の説明を受けながら見学しました。晩秋のきれいな紅葉の中で、散策と交流の有意義な一日を過ごすことが出来ました。

### 西谷の人口は今・・・平成30年 11月末現在

	宝塚市	西谷	
人口	234,212人	2,469人	☆西谷小学校児童89名
65歳以上	63,646人	1,070人	☆西谷中学校生徒39名
高齢化率	27.2%	43.3%	



### 「西谷地区まちづくり計画」の見直し作業に着手!

西谷地区まちづくり計画策定に向け、第1段階「現計画の進捗状況の評価・取りまとめ」作業を終え、11月9日に拡大役員会を開催し、「いま困っていること」、「今後、10年で心配していること」などをテーマとしたワークショップを実施しました。



計画の見直しガイドラインに基づき、拡大役員会等で今後の進め方を検討しました結果、検討項目を再編成し3分科会で協議することといたしました。

12月から、第2段階「計画の目標、現状と課題、ビジョンのとりまとめ」に向けて、各分科会では今年9月を目途に、随時部会を開催し、必要に応じてワークショップや簡易アンケート調査なども検討しながら、地域の活性化、諸課題の解決に向けて取り組んでまいります。まち協のHPなどを通じて取り組み状況を掲載しますので、皆様のご意見、ご提案をお願いいたします。

#### <西谷地区まちづくり計画進捗状況評価結果>

第1分科会<災害防止> 安全で快適なまちづくり

第2分科会<福祉・コミュニティ>  
ふれあいと協働のまちづくり、  
健康で安心して暮らせるまちづくり

第3分科会<教育・文化>  
人に温かく豊かな心をはぐくむまちづくり  
お互いの“こころのひだ”にふれあう人づくり

第4分科会<産業・労働>いきいきと活力のあるまちづくり

第5分科会<環境・自然> 自然と共生するまちづくり

#### <西谷地区まちづくり計画の策定>

第1分科会 <安心・安全>  
防犯、防災、スポーツ、  
コミュニティ、福祉、健康など

第2分科会 <文化・教育>  
子育て環境、学校教育、生涯学習  
文化財、歴史、食文化など

第3分科会 <産業・環境>  
産業(農林業)、仕事、自然環境、  
空き家対策、交通など

### 市民と市長のテーブルトークがありました。



12月9日(日)に、西谷ふれあい夢プラザで開催されました。『～エイジフレンドリーシティ～「お互いさま」があふれるまち宝塚を目指して』をテーマに、中川市長と参加者20名全員が直接対話しました。西谷地区も超高齢化少子化が急速に進み、より一層支え合いの必要性が高まっています。このような地域課題の解決に向けて提案がありました。特に、少子化により、地域の将来の担い手が激減しており、学校教育を含めた課題への取り組みなど、率直な意見交換が行われました。中川市長と意見交換や提案された課題については、市役所の中で検討され、回答を頂くことになっています。

### 新名神高速道路の今・・・西谷産ブランド商品の販売で賑わう! <宝塚北 SA>

昨年3月に待望の新名神が全線開通し、宝塚北SAではウェルカムゲートの設置もあり、多くの利用者で賑わっています。



開通を契機に西谷地域の活性化につなげるため、様々な企画が取り組まれています。そのひとつが、西谷産の農産物を生かした商品を開発し、地域ブランド「宝塚 花の里・西谷」として、サービスエリア

内での常設販売を行っています。また、8月にはJAZZフェスタを開催したほか、9月から毎月第2土・日曜日に「西谷物産展」を開催して野菜をはじめ、特産品の販売を行っています。今後ともサービスエリアにおいて西谷地域の魅力を発信する、地域の活性化につながる楽しい企画を提案しましょう。